

報 雜

◎人 事

叙従五位 正六位勳四等 長谷川 静一
 叙従六位 正七位勳五等 三木 良定
 (九月十五日)
 (各通) 正五位勳二等 平川 龍造
 正五位勳三等 尾崎 文七郎
 叙従四位
 叙正七位 従七位 栗林 太郎
 陸軍軍醫少將正五位勳二等 平川 龍造
 陸軍軍醫少將正五位勳三等 尾崎 文七郎
 特旨ヲ以テ位一級被進

(九月十八日)

岡山醫科大學教授 畑 文平
 賜本俸三級俸
 岡山醫科大學助教授 清水 勝
 本俸九級俸下賜

(九月二十五日)

岡山醫科大學助教授 栗林 太郎
 陸叙高等官六等
 (各通) 従六位勳五等 森 定 惠
 従六位勳四等 大田 澄
 従六位勳五等 丹原 驍夫
 叙正六位

(十月一日)

岡山醫科大學教授 清水 多榮
 賜本俸二級俸

(十月十四日)

○石原眞一君 曩日慶尙北道立大邱醫院醫官兼大邱醫學專門學校教授を辭職せられたる同君は朝鮮大邱府東城町2丁目に於て開業せられたり

芥川穉君逝く 君は昭和3年3月東京慈恵醫科大學を卒業し昭和10年4月より岡山醫科大學專攻科に入り石山外科教室にて研究し近時山口縣熊毛郡上開村に於て開業し居られしが本月3日病を以て急逝せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎公務應召

今回の支那事變の爲め公務應召せられたる岡山醫科大學内の助教授、助手、副手及び専攻生の諸君は次の如し (本月21日調)

稲田内科教室

萩原武夫 大橋政人

北山内科教室

和田直 谷正志

石山外科教室

額田須賀夫 北浦孝一 甲斐太郎

井爪昌和 萱田静海 中村俊雄

伊庭喬樹 藤澤秀圃

津田外科教室

砂田輝武 清水勝 藤原拓士

産科婦人科教室

橋本清

小兒科教室

栗林太郎 安達龍夫 佐藤勝美

眼科教室

安井正俊

神経科精神科教室

菅野一

耳鼻咽喉科教室

大 饗 律 治 菰 口 武 夫

生 理 學 教 室

松 本 朝 夫 福 島 敏 夫 繁 定 光 治

藤 田 嘉 平 治

解 剖 學 教 室

小 橋 成

衛 生 學 教 室

鎌 谷 秀 武 森 下 亮 善 小 野 英 夫

病 理 學 教 室

中 野 文 郎 渡 邊 直 明

◎學位授與

芥川讓君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが本年9月20日の教授會を通過し本月2日醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は次の如し

主 論 文

各種臟器ニ對スル動脈結紮ト動靜脈同時結紮ノ場合ニ關スル影響ノ比較的研究

- 其 1. 四肢血管結紮ニ關スル實驗的研究
(日本外科學會雜誌第 38 回第 1 號ニ發表セリ)
- 其 2. 腎臟血管結紮ニ關スル實驗的研究
(日本外科學會雜誌第 38 回第 4 號ニ發表セリ)
- 其 3. 脾臟血管結紮ニ關スル實驗的研究
(日本外科學會雜誌第 38 回第 4 號ニ發表セリ)
- 其 4. 精系血管結紮ニ關スル實驗的研究
(追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)
- 其 5. 四肢血管結紮後ノ側副血行生成ニ關スル實驗的「レ」線學的研究
(追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)

參 考 論 文

- 1. 偏側頸部主幹血管結紮ガ腦ニ及ボス影響ニ

就テノ實驗的研究

(本誌第 49 年第 5 號ニ發表セリ)

- 2. 總腸間膜ニ起因スル腸管軸捻轉ニ就テ
附. 術前術後ノ X 線所見
(「グレンツゲビート」第 10 年第 12 號ニ發表セリ)
- 3. 腸捻轉症ノ外科臨床的觀察 特ニ腸間膜瘢痕形成ノ本症發生ノ意義ニ就テ
(日本外科學會雜誌第 38 回第 3 號ニ發表セリ)
- 4. 唾液結石ノ 1 症例ニ就テ
(東京醫事新誌第 2985 號ニ發表セリ)
- 5. Brodie 氏骨腫瘍ニ就テ
(東京醫事新誌第 2987 號ニ發表セリ)

◎日本文化講義

岡山醫科大學にては本月9日午後1時より同學第1講堂に於て第5回日本文化講義を開き次の講演ありたり

皇室ノ御敬神

宮内省學典 星 野 輝 興

◎解剖祭

岡山醫科大學にては昨年11月以降1箇年間の學術研究の爲め其の身を捧げたる尊き生靈 101 體に對する解剖祭を本月 29 日午前 10 時より當市國清禪寺に於て執行せり定刻に至り一同着席するや同寺住職華山海應師導師となり衆僧の讀經あり次に田村學長、學生總代安藤正典君、來賓石原岡山市長(代讀)等の祭文朗讀あり、次に學長、主任教授、學生總代、來賓總代及び遺族總代の燒香ありて式を閉ち來賓及び遺族には別室に於て茶菓の饗應ありて午前 11 時 - 同散開す。尙ほ田村學長並に岡山、高松兩刑務署員は當市笹山に在る同大學の納骨堂に參拜せられたり